

学 科	服飾美術学科	担 当 教 員	趙 採 沃		
授 業 科 目	アート造形技法演習 I		科目区分	専門科目	1 単 位
必修・選択	選択	授業形態	演習	開 講 時 期	1 年次・前期
授業の主題 目 標	<p>マルセル・デュシャン以降、現代アートについての理解を深める。 現代におけるアート技法に関する知識や技術、応用力を身に付ける。 環境や身の周りのものことについての洞察力や、柔軟な思考力を育む。 現代アートの制作手法について作品制作を通じて考えていく。 様々な造形技法を試しながら自らのアートコンセプトによる創作へと発展させる。</p>				
授業の内容 進 め 方	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. レディメイド (Ready-made) とアート 3. レディメイドとアート 作品の発想 4. レディメイドとアート 企画 5. レディメイドとアート 制作 6. レディメイドとアート プレゼン 7. ジャンク (Junk) とアート 8. ジャンクとアート 作品の発想 9. ジャンクとアート 企画 10. ジャンクとアート 制作 11. ジャンクとアート プレゼン 12. 複製技術とアート 13. 複製技術とアート 作品の発想 14. 複製技術とアート 企画と制作 15. 複製技術とアート プレゼン <p>定期試験は実施しない</p>				
実務経験を 活かす内容					
テ キ ス ト 教 材	インスタントアート (福島 豊彦, 現代書館, 1985)				
準備学習の 具体的内容	必要に応じて授業の際に告知。 授業の際、必ず、関連資料および準備物を持参。				
評価の方法 基 準	作品 (70%) プレゼンテーション (20%) 授業態度 (10%)				
履 修 上 の 注 意	積極的に、作品制作やプレゼンに取り込むこと。				